

News release

困難な市場環境が続く中、スイス・リーは2016年上半期の純利益19億米ドルと堅調な決算を公表

- グループの純利益は19億米ドルと堅調で、大口およびテイラーメイドの取引、ならびに好調な投資業績が引き続き大きく貢献
- 損害再保険事業の純利益は8億7000万米ドル、株主資本利益率は13.7%
- 生命・医療再保険事業の純利益は4億1700万米ドル、株主資本利益率は12.6%
- コーポレート・ソリューションズの純利益は5500万米ドル、株主資本利益率は4.8%
- ライフ・キャピタルの純利益は5億6900万米ドル、総キャッシュフローは1億1600万米ドル、株主資本利益率は18.1%
- 損害再保険事業は、第2四半期に発生したいくつもの大規模な自然災害により約3億5000万米ドルの損失を計上
- 7月の損害再保険契約の更改では、困難な市場環境にもかかわらず、魅力あるポートフォリオを維持
- スイス・リーの取締役会は、2017年にジャック・ドウ・ヴォークレロイを取締役として選任することを提案

チューリッヒ、2016年7月29日 - スイス・リー・グループ(以下、スイス・リーまたはグループ)は、2016年上半期の純利益が19億米ドルとなったことを発表しました。これは自然災害、政治的不確実性、著しく変動する金融市場といった状況の中で達成した業績です。再保険事業の純利益は引き続き大口およびテイラーメイドの取引に下支えされ、生命・医療及び損害再保険事業に大きく貢献しました。損害再保険事業の純利益は、カナダの山火事や日本における地震、欧州各地の洪水など、2016年第2四半期に発生した規模の大きい自然災害の影響を受けました。コーポレート・ソリューションズは、2件の大規模な保険金支払の結果、純利益は5500万米ドルに減少しました。アドミン・リー®を含むライフ・キャピタルは、ガーディアン・ファイナンシャル・サービスの貢献もあり、5億6900万米ドルの純利益を計上しました。

グループの新最高経営責任者であるクリスチャン・ムメンタラーは次のように述べています。「困難なマクロ経済環境、顕著化した自然災害による損害、コーポレート・ソリューションズで報告された大規模な保険金支払などによって厳しい第2四半期となりましたが、2016年上半期としては堅調な業績となっています。当社が持つブランド力に加えお客様との繋がりの強さが

Media Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 7171

New York
Telephone +1 914 828 6511

Hong Kong
Telephone +852 2582 3660

Investor Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O.Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

堅調な業績に反映されています。当社の盤石な資本基盤の上にこうした強みや規律ある引受を重視する姿勢が、激動の時期を切り抜け、将来恩恵をもたらすと信じています。」

2016年上半期も堅調なグループ業績

グループが発表した2016年上半期の純利益は19億米ドルと好調でしたが、前年同期の23億米ドルからは減益となりました。当該業績は、継続的な大口およびテ일러メイドの取引に加え、好調な投資業績を反映しているものの、損害再保険事業で発生したいくつかの大規模自然災害から生じた約3億5000万米ドルの損失(再々保険控除後、税引前)によって一部相殺されています。

上半期のグループの株主資本利益率(ROE)は年率換算で10.9%(前年同期13.5%)となり、1株当たり利益(EPS)は5.51スイスフラン(5.61米ドル)となりました。前年同期は6.27スイスフラン(6.60米ドル)でした。

グループ全体では、2016年最初の6ヶ月の既経過保険料および手数料収入は総額161億米ドルで、9.6%増加しました(前年同期は147億米ドル)。為替変動の影響を除いた場合の既経過保険料および手数料は、一部の市場および保険種目における伸びを反映し12.1%の増加でした。上半期のコンバインド・レシオは98.0%(前年同期は88.9%)でした。

グループの上半期の投資収益率(ROI)は、年率換算で3.7%(前年同期は4.0%)と好調を維持しました。収益率の下落は、平均運用資産が上昇した一方で正味実現利益が減少したことが原因でした。2016年上半期の純投資収益は、ガーディアンの買収によるプラスの影響が再投資率の減少を上回り、19億米ドル(前年同期18億米ドル)となりました。

普通株主資本は、2016年3月末時点の348億米ドルから、6月30日時点で358億米ドルに増加しました。2016年6月末時点での普通株1株当たりの簿価は107.95米ドルまたは105.16スイスフラン(2015年12月末時点では95.98米ドルまたは96.04スイスフラン)でした。

損害再保険事業の純利益は8億7000万米ドル、ROEは13.7%

2016年の上半期、損害再保険事業は自然災害による損害の増加や過年度引受の良好な影響が減少したにもかかわらず、好調な引受業績を反映し8億7000万米ドルの純利益を計上しました(前年同期は13億米ドル)。上半期のROEは年率換算で13.7%でした(前年同期は20.2%)。

既経過保険料は11.3%増の81億米ドル(前年同期は73億米ドル)となり、主に米国と欧州における大口取引に後押しされました。

損害再保険事業の上半期のコンバインド・レシオは過年度引受の良好な影響の減少及び大規模損失を反映し97.2%(前年同期88.3%)でした。前年同期は自然災害の発生が特に少なかったことから恩恵を受けました。

生命・医療再保険事業の純利益は 4 億 1700 万米ドル、ROE は 12.6%

2016 年の上半期、生命・医療再保険事業の純利益は 4 億 1700 万米ドルでした(前年同期は 5 億 900 万米ドル)。過年度の業績は、為替換算再測定による利益の恩恵を受けました。さらに当年度の業績は、既発生未報告損害や評価方法の改訂といった発生保険金が悪化したことによる影響を受けました。上半期の ROE は 12.6%(前年同期は 17.1%)でした。

上半期の既経過保険料および手数料収入は 57 億米ドル(前年同期は 51 億米ドル)でした。既経過保険料は全地域において増加しました。これは新規のビジネス、当期に米国で獲得した大口の既契約取引、ならびにその他 2015 年後半に獲得した新たな契約によるものです。

コーポレート・ソリューションズの純利益は 5500 万米ドル、ROE は 4.8%

コーポレート・ソリューションズの 2016 年上半期の純利益は 5500 万米ドル(前年同期は 2 億 4800 万米ドル)でした。2016 年上半期の業績は、北米で 2015 年第 3 四半期と第 4 四半期に発生した 2 件の大規模な人災による損害を反映しています。これら損害の規模及び負担額は、2016 年第 2 四半期になってようやく確定しました。当該影響は、ほとんどのその他保険種目における良好な業績と投資活動からの小幅な収益によって一部相殺されました。上半期の ROE は 4.8%でした(前年同期は 21.6%)。

既経過保険料は 2016 年上半期も 17 億米ドルと、前年同期と比較して概ね横ばいにとどまりました。コンバインド・レシオは上半期に 101.6%に上昇しました(前年同期 91.7%)。

ライフ・キャピタルは純利益 5 億 6900 万米ドル、ROE は 18.1%

2016年1月1日に創設されたライフ・キャピタル事業部は、既存のアドミン・リー®事業と生命・医療保険の元受事業を含む、スイス・リーの生命・医療保険のクローズド・ブックとオープン・ブックの管理を行っています。これまで生命・医療再保険事業に計上されていた生命・医療元受保険事業は、比較情報のため適切な調整がなされています。

2016年上半期、ライフ・キャピタルは純利益5億6900万米ドル(前年同期は2億5000万米ドル)を計上しました。2016年上半期の業績は、今年1月に入って買収が完了したガーディアン・ファイナンシャル・サービスの貢献と、概ね予想どおりに推移した基幹事業の業績が含まれます。上半期の ROEは18.1%(前年同期は8.4%)でした。

既経過保険料および手数料収入は上半期に5億9100 万米ドル(前年同期は5億6300万米ドル)に増加しました。

上半期の総キャッシュフローは1億1600万米ドル(前年同期は1億3900万米ドル)で、金利の低下と英国における信用スプレッド拡大の影響を受けました。

グループ全体で業績が堅調だった第 2 四半期

第 2 四半期、グループは 6 億 3700 万米ドル(前年同期は 8 億 2000 万米ドル)の純利益を計上しました。同四半期のグループ全体の純投資利益は 9 億 3000 万米ドルでした。グループの ROI は 3.7%(前年同期は 4.2%)と好調で、これはポートフォリオ全体にわたる正味投資利益および正味実現利益にけん引されたものです。

損害再保険事業は 2 億 8300 万米ドル(前年同期は 4 億 6100 万米ドル)の純利益を計上しました。これは同四半期中の大規模な自然災害および人災による損害を反映していますが、過年度引受の良好な結果により一部が相殺されています。当四半期の業績にはカナダの山火事による 2 億 2000 万米ドル(再々保険控除後、税引前)の予想損害額も含まれています。第 2 四半期の ROE は 9.4%でした。米国と欧州における大口およびテイラーメイドの取引が後押しし、正味既経過保険料は 41 億米ドルに増加しました。コンバインド・レシオは、予想を上回る大規模な自然災害による損失の影響を反映して 101.0%となりました。

生命・医療再保険事業の純利益は 1 億 7300 万米ドル(前年同期は 2 億 2600 万米ドル)でした。第 2 四半期の ROE は 10.1%に低下しました。正味既経過保険料は、大口およびテイラーメイドの取引のほか、中国およびオーストラリアでの契約更改が寄与したことにより、12.6%増加し 29 億米ドルとなりました。

コーポレート・ソリューションズは第 2 四半期に 2500 万米ドルの純損失を計上しました(前年同期は 7600 万米ドルの収益)。同四半期の ROE は -4.2%でした。この業績の悪化は、2015 年に発生した 2 件の大規模な人災による損害、株式からの実現利益の減少、デリバティブ型保険の減少が主な原因でした。正味既経過保険料は 3.8%増加し 8 億 7500 万米ドルとなりました。コンバインド・レシオは 112.7%に上昇しました(前年同期は 96.6%)。

ライフ・キャピタルは 2 億 4800 万米ドルの純利益を計上しました(前年同期は 4200 万米ドル)。力強い業績は、主にガーディアン・ポートフォリオに起因する投資収益によって支えられました。第 2 四半期の ROE は 13.4%でした。既経過保険料および手数料収入は 3 億 700 万米ドルに増加しました(前年同期は 2 億 5700 万米ドル)。

グループの最高財務責任者であるデビッド・コールは次のように述べています。「当社は逆風に直面したものの、第 2 四半期も全体的にしっかりとした収益力を維持しています。当四半期の事象は、当社の世界的に分散化されたビジネスモデルの強さを強調しています。」

7 月の契約更改でも魅力あるポートフォリオを維持

スイス・リーは 7 月の契約更改の際にも、主に米州を中心に魅力あるポートフォリオを維持しました。7 月の更改において契約は保険料ベースで 10%増加し、年初来の保険料も大口およびテイラーメイドの取引を背景に

18%伸びました。これは大口およびテイラーメイドの取引を通じた差別化が引き続き成功していることを示しており、こうした契約は1月から7月までの間に76%増加する一方、フロー・ビジネスは7%減少しました。

更改後のポートフォリオのリスク調整後の適正料率は、年初来で102%の横ばいとなりました。損害再保険事業の料率環境は、財物保険価格の継続的な下落に伴い引き続き困難な状況が続いています。よって、スイス・リーは米国のハリケーンを含め、特定のセグメントにおける自然災害のキャパシティを削減しています。潤沢な資本が引き続き料率に対する圧力となっていますが、以前に比べるとその力もかなり小さくなっています。

スイス・リーはジャック・ドゥ・ヴォークレロイ (Jackes de Vaucleroy) を新しい取締役として選出することを提案

取締役会は、2017年4月21日の年次株主総会でジャック・ドゥ・ヴォークレロイを新しく独立非業務執行取締役として選出することを提案します。

ジャック・ドゥ・ヴォークレロイが持つ30年のグローバルなビジネス経験は、主に金融サービスと小売業界で培われました。彼は、AXAとINGでグローバルおよび地域CEOとしての経験を積んだ他、食品小売業界大手のデルハイゼ・グループで非業務執行取締役を務めました。また、2016年6月までAXAグループ(フランス)の北部、中央、東部欧州地域(NORCEE)CEOの役職に就いており、それに先立つ6年間は、NORCEE地域CEOとAXAグループの経営委員会メンバーを兼任し、生命・貯蓄保険事業をグローバルに統括していました。

スイス・リー取締役会会長であるウォルター・B.キールホルツは次のように述べています。「ジャック・ドゥ・ヴォークレロイを取締役に迎える提案をすることが決まりましたのでお知らせいたします。彼は保険業界に深い経験を有し、なかでも元受生命保険事業を経験していることは、スイス・リーがライフ・キャピタル事業部のさらなる展開を継続するにあたり、まさにスイス・リーに相応しい人材であると考えております。」

成功へのロードマップを作るテスト期間

現在の低利回り環境は、引き続き業界にとっての課題です。さらに、英国におけるEU離脱の国民投票など、政治動向も不確実性や変動に拍車をかけ、その長期的な結果はまだ明確になっていません。こうしたことにより、スイス・リーのリスク管理の経験および専門性の重要性がますます高まっています。

グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムメンタラーは次のように述べています。「1四半期のうちにいくつもの自然災害によって、複数の大規模損害が発生したことはここ数年では初めてのことです。しかしこのような事象は、私たちの存在意義を改めて教えてくれます。つまり、強靱な世界の構築を目標としながら、災害後の復興のお手伝いをするということです。今

年の上半期は、リスクに関する当社の幅広い専門知識、またお客様との繋がりが重要であるということを教えてくれています。私たちが力を合わせるにより、例えそれが試用期間中であっても、お互いの成功に向けたロードマップを作成することができると思っています。」

年初来業績の詳細(2016 年上半期 (H1) vs 2015 年上半期)

		2016 年 H1	2015 年 H1
損害再保険	既経過保険料(百万米ドル)	8 092	7 270
	純利益(百万米ドル)	870	1 278
	コンバインド・レシオ(%)	97.2	88.3
	純営業利益率(%)	13.6	21.6
	投資収益率(年率%)	3.5	4.2
	株主資本利益率(年率%)	13.7	20.2
生命・医療再保険	既経過保険料および手数料(百万米ドル)	5 695	5 148
	純利益(百万米ドル)	417	509
	純営業利益率(%)	10.7	13.9
	投資収益率(年率%)	3.8	3.6
	株主資本利益率(年率%)	12.6	17.1
コーポレート・ソリューションズ	既経過保険料(百万米ドル)	1 740	1 725
	純利益(百万米ドル)	55	248
	コンバインド・レシオ(%)	101.6	91.7
	純営業利益率(%)	2.6	18.5
	株主資本利益率(年率%)	4.8	21.6
ライフ・キャピタル	既経過保険料および手数料(百万米ドル)	591	563
	総キャッシュフロー(百万米ドル)	116	139
	純利益(百万米ドル)	569	250
	純営業利益率(%)	41.4	21.8
	投資収益率(年率%)	4.4	5.0
	株主資本利益率(年率%)	18.1	8.4
グループ連結(総額)¹	既経過保険料および手数料(百万米ドル)	16 118	14 706
	純利益(百万米ドル)	1 866	2 260
	1 株当たり利益(米ドル)	5.61	6.60
	コンバインド・レシオ(%)	98.0	88.9
	純営業利益率(%)	13.6	18.2
	投資収益率(年率%)	3.7	4.0
	株主資本利益率(年率%)	10.9	13.5

¹ プリンシパル・インベストメントを含むグループ項目も反映している。

第2四半期決算の詳細(2016 vs 2015)

		2016年 Q2	2015年 Q2
損害再保険	既経過保険料(百万米ドル)	4 136	3 503
	純利益(百万米ドル)	283	461
	コンバインド・レシオ(%)	101.0	92.9
	純営業利益率(%)	9.4	17.3
	投資収益率(年率%)	3.6	4.1
	株主資本利益率(年率%)	9.4	14.2
生命・医療再保険	既経過保険料および手数料(百万米ドル)	2 860	2 541
	純利益(百万米ドル)	173	226
	純営業利益率(%)	9.3	13.0
	投資収益率(年率%)	4.0	3.9
	株主資本利益率(年率%)	10.1	14.5
	コーポレート・ソリューションズ	既経過保険料(百万米ドル)	875
純利益(百万米ドル)		-25	76
コンバインド・レシオ(%)		112.7	96.6
純営業利益率(%)		-6.8	13.1
投資収益率(年率%)		2.3	3.6
株主資本利益率(年率%)		-4.2	13.4
ライフ・キャピタル	既経過保険料および手数料(百万米ドル)	307	257
	総キャッシュフロー(百万米ドル)	141	87
	純利益(百万米ドル)	248	42
	純営業利益率(%)	37.7	12.5
	投資収益率(年率%)	4.4	4.6
	株主資本利益率(年率%)	13.4	2.8
グループ連結(総額)²	既経過保険料および手数料(百万米ドル)	8 178	7 144
	純利益(百万米ドル)	637	820
	1株当たり利益(米ドル)	1.92	2.39
	コンバインド・レシオ(%)	103.1	93.6
	純営業利益率(%)	9.4	15.1
	投資収益率(年率%)	3.7	4.2
	株主資本利益率(年率%)	7.2	9.5

² プリンシパル・インベストメントを含むグループ項目も反映している。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト(www.swissre.com)をご覧ください。また、Twitter で(@SwissRe)をフォローしていただきますようお願い致します。